

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1 参加者 大川、田中、大石、三浦、福竹 以上 5名

2 山城・ルート 奥美濃 三周ヶ岳

3 交通手段 電車 車 バス

4 行動記録

入山日 2014年3月7日 下山日 2014年3月9日

3月7日(金)21:00 神戸出発→23:30 賤ヶ岳 SA 着 (仮眠)

3月8日(土) 5:30 賤ヶ岳 SA 出発 →6:40 広野ガム出発→8:40 登山口→12:30 夜叉ヶ池山→15:15 夜叉ヶ池上部の平地(テント泊)

3月9日(日) 6:30 夜叉ヶ池上部の平地出発→1252m 分岐→8:45 三周ヶ岳山頂→1252m 分岐→10:45 夜叉ヶ池上部の平地 (テント撤収) →夜叉ヶ池→夜叉ヶ池山→13:50 登山口→15:30 広野ガム→入浴後帰神

5 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a 予定のルート・日程で行動出来たか 予定ルートをはずれた場合あるいは日程が異なった場合はその理由

3月8日 初歩外気味で夜叉ヶ壁の雪屁通過が危険な状態であったため、15時10分で行動中止。夜叉ヶ池上部の平地(ぶなの森の中で樂園みたいな場所でした)でテント泊し、ラウンドをピストンに変え、翌日状況を見てアタックすることとした。

b 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか 発生した場合は具体的に記す
・夜叉ヶ池山からのナイフジグで、Oが先頭で慎重に下降していた時、1m程先の雪屁(幅3m程)が崩落した。ゆっくり歩いていたため、ことなきを得た。

d パーティーで山行中の事故に繋がる要因について山行後検討したか

・一つ山行の中でも、高度、場所、時間によって雪の状態はまったく変わることを実感する。雪の状態にあった、歩き方、装備が必要。

6 その他ルートに関する情報・気がついた事など～今回の教訓

- ・今回藪こぎがあり、またナイフジグ雪屁が発達しており、難易度が増していたが、パーティーのメンバーが助け合い、無事登頂できた。みんなよく頑張った!
- ・自分たちのトレースを後からみて、きれいなラインに感動した。
- ・大変静かで奥深い、すばらしい山でした。入山者は私たちだけでした。
- ・また、来たい山でした。

報告者氏名 大川 肇

平成26年3月15日